

校内研修計画

甲州市立 祝小学校

1 学校課題

本校は、全学年1クラスで各学級20名前後の小規模校である。児童は明るく素直で仲が良く、異学年の交流の場もあるため、家庭的な雰囲気も見られる。学習面でも、真面目に取り組む姿が見られる。

昨年度の校内研の中であげられた児童の学習課題は「学習意欲や学習能力の個人差が大きい」「筋道を立てて考えていくことが苦手」「文章を読解力する力が乏しい」「自分の考えを自分の言葉や図、絵を使って説明することに消極的」などがあつた。

これらのことは、平成23年度から完全実施となった新学習指導要領では「生きる力」を育む理念のもと、基礎的・基本的な知識や技能の習得とともに①思考力・判断力・表現力の育成、②主体的に学習に取り組む態度の育成、③言語活動を充実し、言語に関する能力の育成が求められていることに対して祝小の課題とするところである。

2 研究主題

「自ら学ぶ児童の育成」

～算数科における授業づくりを通して～

3 主題設定の理由

本校では、「心豊かでたくましく生きる子」という学校教育目標具現化のために、全教育活動の中で児童の主体的な活動や楽しく充実感のある授業展開が大切であると考えている。「知・徳・体」の調和がとれた人間性豊かな児童の育成するために、「知においては、基礎的・基本的な学力の定着とともに、自分なりに知識を活用し、自ら考えて判断したり、考えたりできる児童の育成が必要である」と考える。そうした力をつけることでいずれは、教育活動全体に渡り「心豊かでたくましく生きる子」が育まれるのではないかと考えこの主題を設定した。

本校では、平成22年度から国語科を中心に「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童」を目指し、「書く活動」と「学びの場」の効果的な活用について研究してきた。

平成26年度には教科を算数科にして研究を継続し、一定の成果を得ることができた。しかし、全国学力調査、県学力把握調査、学習アンケート等の結果を考察すると、基礎的・基本的な知識や技能において個人差、学習意欲の低下、思考力・表現力を問う問題への苦手意識、読解力の不足などの課題があつた。

そこで、今年度も、甲州市の「確かな学力育成プロジェクト」の取り組みと連携し、算数科において、確かな学力をつけ、「自ら学ぶ児童」を意識して育てていきたいと考えた。そのために、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに言語活動を充実させていきたい。特に、今年度は授業づくりに主眼を置いた3カ年計画の二年目として、授業の中心である展開時の話し合いの場の工夫・教師の関わりの研究に取り組むこととした。

4 研究の具体的内容と方法

具体的内容

①テーマに基づく校内研究

○研究授業の実施

○理論研究

*算数科において

・教材の工夫，板書，発問，授業展開，話し合いの場、教師の関わり

・思考力や表現力を高めるための言語活動の充実について

○学習アンケートの実施と集計・分析

○一人実践の取組み

②甲州市確かな学力育成プロジェクトとの連携を図る。

○あいさつ運動・学習規律の取組（授業づくり・授業改善部会との関連）

○Q-Uの実施（4月，10月）と分析・活用の充実（学級・集団づくりとの関連）

○家庭学習の手引きの見直し，家庭学習の推進（保護者・地域との連携部会との関連）

③全国学力・学習状況調査の分析と課題

○県学力把握調査の分析と課題

○教育課程講習会の環流報告

方法

○一本の授業を共同研究とし，ブロックで検討する。

○研究授業は，2年目として，話し合いの場の工夫，教師の関わりを中心に研究を深める。

○年度初めに，児童の算数学習アンケートを行う。その結果に基づき，達成度の低い質問項目に留意し，指導を行う。

○個に応じた指導の充実をさらに推進するために，Q-Uを実施し，分析・活用をしていく中で児童理解を深める。

○全国学力・学習状況調査と県学力把握調査の結果をもとに，課題を確認し，改善策をたて，実践する。

年間校内研修計画

研究主任 山下 史江

研究テーマ	教科 領域 等	担当者	学年	授業の時期	TC 要請
研究主題・内容・方法等の検討 祝小家庭学習の手引き	算数	山下		4 / 6	
研究計画・組織の確認・研究主題の決定		山下		4 / 13	
算数学習アンケート項目の確認		山下		4 / 20	
甲州市Teachers Note を使って学習会 Q-Uの分析 (K-13法) と今後の取り組み		山下 各ブロック		5 / 11	
算数学習アンケート考察と今後の取り組み		各ブロック		5 / 25	
理論研究		山下		6 / 8	○
授業実践 (一人一実践)		授業者	1年	6 / 29	
教育課程講習会の還流報告 県学力把握調査の分析・改善策について 全国学力状況調査の分析・改善策について		担当者 山下		8 / 17	
祝小家庭学習の手引き見直し 学習規律, あいさつの取組みについて		各ブロック		9 / 7	
授業実践 (一人一実践)		授業者	4年	9 / 14	
授業実践 (一人一実践)		授業者	教務	9 / 21	
授業実践 (一人一実践)・指導案検討		授業者	2年	10 / 5	
授業実践 (一人一実践)・指導案検討		授業者	1年	10 / 12	
研究授業案検討		授業者		10 / 26	
授業実践 (共同研究・研究授業)		授業者	6年	11 / 2	○
授業実践 (一人一実践)		授業者	5年	11 / 9	
授業実践 (一人一実践)		授業者	特支	12 / 7	
QU調査の分析と改善策		各ブロック		12 / 14	
研究のまとめ (成果と課題)		山下		2 / 1	
来年度の方向性		山下		2 / 22	
紀要の作成		各自		3 / 1	